

【第9章 章末問題解答】

① 財務諸表分析の必要性について、客観性と不確実性という言葉を用いて説明しなさい。

財務諸表の利用者は財務諸表情報から、何らかの意思決定をする。その意思決定を助けるため、財務諸表分析は必要不可欠であり、次の2点から説明できる。

ある企業を評価する時、イメージだけで判断することは、間違った意思決定をしてしまう可能性があり、非常に危険である。つまり、客観性ある財務データに裏付けられた財務分析を通じて、財務諸表利用者は意思決定を行わなければならない。

次に財務諸表利用者は、企業の将来について意思決定をすることがほとんどであるが、そこにはもちろんのこと、不確実性が存在する。企業や企業を取り巻く経済状況等、完璧に予測することができる人は存在しない。その不確実性をできる限り減らし、財務諸表利用者の適切な意思決定を支えるため、財務諸表分析が必要なのである。

② 以下の企業情報のうち、定量情報に該当するものはどれか、選びなさい。

規制の有無、従業員数、財務諸表、経営者の資質、販売シェア、株価、技術力

③ 以下の文章の正誤を答えなさい。

(ア) 今年度売上高が200で、毎年20%の伸び率が続くとすると、3年後の売上高は320となる。・・・×

<解説> 3年後の売上高： $200 \times (1 + 0.2)^3 = 346$ 万円

320 万円は単利計算をした結果である。

(イ) 伸び率はマイナスの値にならない。・・・×